

物価高騰と市民生活 市ができる対策は 厳しい財政状況でもやるべきことは予算化を

日本共産党西東京市議団 中村 すぐる(なかむら すぐる)

問 日本共産党西東京市議団のもとにも、物価高騰に苦しむ市民からの声が多く寄せられている。物価高騰が市民生活に与えている影響の認識と、市としてできる対策は。

答 長引く物価高騰により、市民も事業者も、様々な影響が出ている。国からの交付金の拡充が示されており、他自治体の事例も参考に、できるだけ早く支援策を実施したい。

意見 国からの交付金に加えて、市の一般財源や基金からの財源投入等も積極的に検討するべき。

2026年度予算編成方針

問 次年度に向けた予算編成方針では、市の厳しい財政状況が随所で強調されている。「財政調整基金の繰入に頼らない財政運営を目指す」と記述があるが、繰入れをしないということか。

答 過度な繰入れに頼らないことが基本。具体的な繰入額は、予算編成作業の中で精査したい。

意見 現状では、本来は国が出すべき予算を自治体で負担している施策も多くある。そのことを踏まえて、国・都への要望を強めるとともに、広い視野を持って、住民福祉向上のためには、やるべきことはしっかりと予算化をしていく姿勢が必要だ。



高齢者への支援を充実させよ! 子どもの睡眠障害は不登校の原因となる!

立憲民主党 森 しんいち(もり しんいち)

働くことを軸とする安心社会について

問 将来に希望が持てる、働くことを軸とする安心社会を築くために、地方自治体として何をすべきか。

答(市長) 多様な働き方ができる職場環境の整備など雇用の確保及び働き方改革に関する取組を支援する。

高齢者への包括的支援について

問 年金の支給額が僅少な高齢者や年金の支給がほとんどない高齢者へ、市はどのような支援ができるか。

答(市長) ひとり暮らしの高齢者や夫婦のみの高齢世帯が安心して暮らし続けるために、地域包括支援センターで状況をお聞きし、適切な関係部署や機関につないでいる。

子どもの睡眠障害について

問 睡眠障害は不登校の原因とも言われているが、睡眠障害という病気であると気づかない人が多い。小・

中学生や保護者を対象とした講演会の実施を検討できないか。

答(教育長) 小児の睡眠不足や睡眠障害が継続すると、様々な病気の発症リスクを高めるなど、症状を増悪させる危険性があると認識している。学校公開などの際に親子で共に学べる講演会を開催するなど、校長会で協議の上、検討していく。



▲地域包括支援センターのリーフレット

自分の言葉で語れる「平和学習」について 学校現場の不祥事防止について

立憲民主党 千間 いずみ(せんま いずみ)

問 長崎市では平和教育の基本方針や目指す子ども像を明確に示し、副教材や研究授業も充実し、主体的な学びが進んでいる。本市にも模擬原子弹投下という独自の歴史があり、副教材への記載や「まちなか先生*」での学習など、学校教育への取組を検討すべき。平和教育の目標設定と、本市の歴史を生かした学習導入について見解は。

答 今後も平和学習の工夫を進め、内容は社会科副読本作成委員会で協議する。また、郷土資料室の展示を充実させ、「まちなか先生」や社会科見学等に生かしていく。

問 昨今の教職員の盗撮等の事件を受け、児童生徒の着替え環境と教職員の私用スマートフォンの扱い対応は。

答 着替えは各校の実情に応じ、カーテン等での区分や更衣室の活用など、

人権に配慮して実施している。私物端末は、私物カメラ禁止等既存の校内ルールの事例を共有し、対応を徹底している。文科省通知を受け、7月に全校で研修と点検を実施し、11月の都教委通知も即日共有した。

その他の質問

- ◇PR親善大使
- ◇YouTubeチャンネルの収益化
- ◇いこいーなのブランド化



▲社会科副読本
「わたしたちの西東京市」

故障した震災用井戸は廃止ではなく大災害に備え浄水器設置で飲用水として活用すべきだ

日本共産党西東京市議団 大竹 あつ子(おおたけ あつこ)

震災用井戸のPFA S調査について

問 5か所の震災用井戸でPFA Sの国の指針値を超過した。また、7か所の井戸がポンプの故障等で計測できなかった。今後の対応は。

答 継続した調査を検討する。故障した井戸は廃止を含め検討する。井戸は生活用水として活用する。

意見 災害時は1人500mlの水しか配布されない。地震などで送水管が破断すれば水は供給できない。浄水器を設置し飲用できるよう備えるべき。故障井戸は廃止すべきではない。

保谷庁舎の敷地活用について

問 西東京あそび場計画共同体が選定された。無料の居場所や遊べるスペースは施設内に確保されるのか。

答 利用料は発生する。

問 質問に答えていない。公有地で行政がお金のある子とない子で格差

をつけることにどう考えるのか。

答 市の計画に沿ったものだ。

意見 年間貸付収入654万円があれば利用料の補助も無料のスペースも作れる。それができなければ見せかけだけの「子ども真ん中」だ。

その他の質問

- ◇学校のトイレの改善
- ◇重度障害者の支援
- ◇教員の不祥事



▲震災用井戸の看板

高齢者への支援を充実させよ! 子どもの睡眠障害は不登校の原因となる!

立憲民主党 森 しんいち(もり しんいち)

加齢性難聴の補聴器購入補助に期待する。 こども誰でも通園制度は利便性に走るな。

日本共産党西東京市議団 やまき 明美(やまき あけみ)

加齢性難聴の補聴器購入補助

問 都は来年度までに全域で補助を実施しているが、本市の予定は。

答 来年度以降に市の独自対応を含め実施予定。

意見 本市では、購入費用の助成だけでなく、アフターフォロー等丁寧に構築される様子である。期待する。

来年度開始のこども誰でも通園制度

問 本市の具体的な実施概要を伺う。

答 実施について現在調整中。着実に実施できるよう情報収集に努める。

意見 来年度開始なのに、国・都からの制度説明不足で基本的なこともまだ決まっていないのは心配。大人の利便性のみに走らず、子どもの最善の利益のための制度になるよう再検討を求める。

答 都議会での議決を経て工事請負契約を締結後、工事説明会を開催し、着工と聞いています。

意見 武蔵野北高校の地下をトンネル工事が通るのに、生徒・保護者に説明がない。都は無責任だ。東伏見小の前にも立坑を造る。シールド工法は陥没も起きている。市民の不安払拭と事故を発生させないために、市は毅然とした態度で都に対応を。



石神井川上流地下調節池本工事開始

問 本工事開始に関する情報を伺う。

自分の言葉で語れる「平和学習」について 学校現場の不祥事防止について

立憲民主党 千間 いずみ(せんま いずみ)

～聴覚障害者支援～庁舎窓口にデジタル技術の導入で相談しやすい優しい窓口にすべき!

立憲民主党 菅原 みほ(すがわら みほ)

学校の安全と教育環境

問 市内公立小学校の副校長が盗撮容疑で逮捕された。性加害は加害者が大人だけでなく、児童生徒間でもあり得る。包括的性教育*やいじめ防止対策のネットリテラシー教育を今度どのように強化するのか伺う。

答 GIGAワークブックとうきょう*などを活用し、各学校に指導する。

保谷庁舎敷地 2階建て屋内遊び場

問 施設利用料が発生する見込みであるとのことだが、補助やクーポンの発行は検討しているのか伺う。

答 現時点では対応は難しい。

意見 経済的な理由で行けないなど疎外感を持つ子どもがいるよう校外学習で取り入れるなど工夫を。

聴覚障害者支援

問 庁舎窓口や障害者総合支援センターフレンドリーへの遠隔通訳サー

ビス、電話リレーサービス*、UDトーク*などタブレット端末や透明ディスプレイ等の通訳ツールの設置状況は。

答 電話リレーサービス等を利用できるタブレット等は、市庁舎及び障害者総合支援センターフレンドリーともに設置していない。

その他の質問

- ◇高齢者のつながり支援

- ◇新図書館構想と居場所づくり



▲全天候型あそび場施設イメージ図